

喜界町



# 議定だより

184号

令和3年7月26日発行



主	常任委員会委員長報告……………	2
な	一般質問に4名が登壇……………	4
内	議会のうごき……………	9
容	編集後記……………	10



発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会  
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地  
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

写真-荒木の海

令和3年第2回定例会は、6月9日開会し6月17日まで9日間の会期で開かれた。初日は、一般質問があり4名が登壇。また、報告3件があり、承認8件を承認、物品売買契約2件を可決した。議案3件、陳情2件を各常任委員会に付託した。6月17日の最終本会議では、各常任委員会の委員長から報告があり、議案3件を可決、陳情1件を採択した。

## “子育て世帯生活支援特別給付金”増額補正

### 補正予算の主なもの

#### ◆ 総務文教常任委員会報告

担当課	事業名	内容説明	予算額(千円)
総務課	財産管理費	防災食育センター横の オープンスペースに隣接する農地 4筆分の造成工事	16,786千円
	諸費 (宝くじ助成事業)	島中集落、滝川集落190万円、 赤連集落250万円 備品購入費	4,400千円
企画観光課	移住促進事業費 (施設改修費)	島中教員住宅の改修費130万円、 浄化槽用地購入費170万円	3,000千円
	新型コロナウイルス感染症 対応 地方創生臨時交付金事業費	9月末に東京で喜界島フェアを開催する 予定で、物産や離島留学相談コーナー などを設ける予定	4,001千円
	ジオパーク推進事業費	ジオパーク申請に向けた業務委託 643万9,000円の中に計上するもの	4,829千円
	国立公園滞在型ツアー 推進事業費	eサイクル12台、テント、ハンモック などの備品購入費	6,309千円
町民税務課	総務管理費 (支所費)	浄化槽の修繕費	365千円
	火葬場費	床置き型冷房の購入費	660千円

担当課	事業名	内容説明	予算額(千円)
町民税務課	廃棄物処理施設整備費	最終処分場実施設計委託料	41,404千円
教育委員会 事務局	保健体育総務費	室内土俵の購入費	460千円

### ◆ 産業福祉常任委員会報告

担当課	事業名	内容説明	予算額(千円)
保健福祉課	子育て世帯生活支援 特別給付金給付事業費	<p>新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、低所得者の子育て世帯に対し、生活の支援を行うための事業。今年度5月までに給付を受けられた以外の世帯。児童一人当たり一律5万円(対象世帯)</p> <p>①.児童手当または、児童扶養手当の支給を受けている方で、住民税均等割が非課税である世帯。(※令和3年4月以降令和4年2月末までに生まれる新生児も対象)</p> <p>②.①のほか、対象児(令和3年3月31日時点で18歳未満の子(障害児については20歳未満))の養育者で、令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯。また新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度分の住民税均等割が非課税世帯と同様の事情にあると認められる子育て世帯。</p> <p>※①の対象世帯の方については、申請は不要ですが、②の対象世帯の方については、申請が必要です。申請期限は令和4年2月28日</p>	5,228千円
農業振興課	農地費修繕料 (維持補修費)	東部水道横、農道路肩の維持補修のため	2,000千円
	農地費原材料費 (維持補修費)	花だより前から島中線を通り伊砂線に繋がる農道の、区画線設置のため	2,000千円

# 一般質問

## 町政のここが聞きたい

第2回定例会で4名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
土岐 和貴 議員

### 子育て支援充実に向けて

#### 質要

3月定例会にて出産時宿泊時等は、1泊5,000円以内で出産日または出産予定日前31日分を限度とし、併せて旅費基本額を助成すると原案可決されたが、その中で出産を経験されている方々からご意見をいただいている。

#### 質問

出産は予定日より遅れることも多くある。安心した環境で出産に臨むためにも女性の意見を傾聴していく必要がある。予定日前31日の限度を見直してほしいと女性の方々が強く希望されているが、見

解を伺う。

#### 答弁 町長

台風や新型コロナウイルス感染症対策で医療機関から早めの待機を勧められたり、出産前の一時的な入院後、帰島せずにそのまま滞在する方法を選択されるご家族もいる。このような事情を勘案し、宿泊日数の限度見直しを検討している。本町における特殊な事情を考慮し、妊産婦の経済的負担の軽減に努めていく。

### 新型コロナウイルスの危険性

#### 質要

令和3年2月11日に開催された医薬品第2部会において、医薬品医療機器等法第14条の3第1項の規定による特例承認の可否について審議された。その中で再審査期間8年、原体及び製剤は、いずれも劇薬に該当するとされた。厚生労働省の新型コロナウイルス予防接種の説

明書に、感染予防効果は十分には明らかになっていない。これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があると書かれている。

緊急時のみ許可が下りているワクチンという事を踏まえて今後も対策を考えていく必要がある。

#### 質問

ファイザー社ワクチンの安全性について見解を伺う。

#### 答弁 町長

国によると主な副反応は、頭痛、それから関節や筋肉の痛み、注射した部分の痛み、疲労、寒気、発熱等があり、まれに起こる重大な副反応としてアナフィラキシーショックがある。

#### 質要

厚生労働省データで令和3年2月17日から令和3年5月16日までアナフィラキシー報告が943件上がっている。

#### 質問

ワクチン接種に対して不安に感じている町民も多く、事実を調べてほしいと意見をいただいている。この現状を踏まえ対応策は考えているか、見解を伺う。

#### 答弁 町長

ワクチンについては100%ではないと伺っている。いろんな考え方があり、資料によって不安に感じる方、逆に安心される方さまざまである。ワクチン接種に関しては、本人の希望に基づくものとし、強制はしない形で国は進めており、本町もそれに基づいて進めている。

#### 質問

ワクチン接種を受ける方、受けない方、両方に対して差別的な対応がないように、そして同調圧力をかけて接種を強制しないように、十分な配慮が必要と考えるが、見解を伺う。

【答弁】 町長

ワクチン接種における差別的な対応について、接種を受ける、受けないに関して差別的な対応は許されるべきではない。今後も、ワクチンや感染症への正しい理解が深められるよう、広報紙やホームページ等、機会を捉えて周知していく。

### 子どもたちの熱中症対策

【質 要】

子供たちの熱中症も、命に関わる危険があることを踏まえて熱中症への対応を優先すべきと考える。文部科学省の学校感染マニュアルの一文で、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しい年齢の子供へは、気温や湿度が高い日は野外でマスクを外すよう積極的に声をかけ、指導を行うと明記されている。

【質 問】

登下校、屋外でのマスク着用の必要性について伺う。

【答 弁】 教育長

夏を迎えるに当たって、熱中症対策は重要な課題の一つである。感染症の感染防止や新しい生活

様式の推進の必要性から、登下校時においても原則マスクを着用することとしている。息苦しさを感じたり、何らかの違和感を覚えたりする場合は、状況に応じて、人との距離を確保し、会話を控え、密にならないように工夫し、マスクを外すよう指導している。学校と家庭が協力して、声かけ、きめ細かな指導が必要である。

【質 問】

家庭でも屋外や登下校中の熱中症対策は必要と考える。熱中症対策に向けてマスク着脱の情報共有も必要ではないか？

【答 弁】 教育長

必要に応じて保護者の協力をいただく必要がある。学校感染マニュアルの熱中症対策の資料を各学校に迅速に配布して、趣旨徹底を図っている。



質問する  
良岡 理一郎 議員

空港で検温4,034件、港で1,575件、37.5度超は2名

【質 問】

新型コロナウイルス拡大防止対策 空港及び港での検温件数など水際対策の現状を伺う。

【答 弁】 町長・保健福祉課長

4月～5月の検温件数は空港が4,034件、港では1,575件、その内空港で37.5度を超える方が2名いたが電話等で健康観察をしており、病状の悪化は見られない。港で乗船できなかった方はいない。引き続き空港、港での検温を実施し感染拡大防止を図っていく。変異株についての水際対策は現在のところ検討中である。

### 高齢者施設スタッフに抗原検査

【質 問】

町内における抗原検査及びPCR検査の実施状況と今後の計画について伺う。

【答 弁】 町長・保健福祉課長

①町内医療機関における検査の実態は、4月～5月において、抗原検査が18件、PCR検査が532件である。PCR検査は、感染が疑われる方や保健所から依頼された方、医療機関へ出入りする方も実施している。

②国は高齢者施設等で軽い症状を訴えるスタッフ等に抗原検査キットを配布しクラスター(集団感染)発生を防止する計画である。本町でも現在必要数量を集約している最中であり、検査キットが届き次第、抗原検査を実施する。

③検査後の隔離施設は医療施設、宿泊療養施設であるが保健所の指示で自宅療養をお願いすることもある。本町でクラスターが発生した時は感染状況を見ながら各方面と連携しつつ対応するが、町内に宿泊療養施設を設置する準備は出来て

いる。

### 高齢者ワクチンは7月末終了、 16歳～64歳は8月末開始

#### 質問

この間2回の接種が終わった医療関係者、高齢者施設入所者、職員の人數、アナフィラキシーの発生、今後の高齢者や一般の方々の接種計画を伺う。

#### 答弁 町長・保健福祉課長

①2回接種が終わった方は、医療従事者、消防職員で132名、高齢者施設入所者及び施設職員が229名である。アナフィラキシーの報告は現状ではない。

②65歳以上の高齢者は対象者が2,725名、予約者が2,295名で予約率84.2%である。2回目の接種日は1回目接種終了後、紙ベースで案内する予定である。接種会場に車いすは用意してある。訪問介護の方々については医療機関とも相談しながら検討していく。

③16歳～64歳の方の予約についてはオンライン予約、保健福祉課窓口、電話予約を予定している。接種は8月末から実施。

④ファイザー社のワクチンは12歳から15歳までの接種が承認されたが慎重な対応が必要で教育委員会とどういう方法が取れるのかを検討していきたい。

### フェリー航路は現状を維持しつつ、改善は航路対策協議会で要望

#### 質問

離島におけるフェリー航路は本土における国道と同じで、島民にとって極めて重要な生活航路である。農家は農作物出荷への制限、児童・生徒のスポーツ・文化活動への時間的・経済的影響、台風時や冬季の悪天候のため、欠航によるスーパー等の品切れ・品薄の慢性化など影響は計り知れない。せめて、日曜日は運航してほしい。年間20日にも及ぶ2月、4月のドックは別の月に動かせないかなど町民の切実な要求です。認識と対策を伺う。

#### 答弁 町長

鹿児島―喜界―知名航路対策協議会において現状の週5便2隻体制の維持を最重要課題と位置付け船会社や荷役業者、利益率、収益

率等総合的に判断している。週7便体制を望むのは私(町長)もおなじであるが、今の段階では現状を維持しながら高きを望む、そういったことで要望していきたい。

### 女性幹部登用は向上、今後男女平等、ジェンダー平等の推進に積極的に関わっていく

#### 質問

本町の男女共同参画基本計画の進捗を伺う。

#### 答弁 町長

女性職員の幹部職員への登用については、平成27年度と本年対比で5.9%から16.7%に向上している。今後も研修制度を活用した人材育成、職場環境の改善に取り組んでいく。男性職員の積極的な家事、育児、介護への参加も推進する。



質問する  
幸一美 議員

### 下水道問題、検討段階のまま

#### 質要

平成24年当時、加入率が49%で690戸の加入であった。

現在9%アップの58%の加入率と伺っている。維持管理目標の65%以上に満たない。この10年間の取組をどのように理解されておられるか。

今後の高齢化とともに、処理人口の減少、機械設備等の老朽化に伴う莫大な修繕費など、ますますひっ迫した状況になってくることも危惧される。改めて目的達成のために採算の取れた事業運営に向け最大限の取組が必要であると考える。

#### 質問

現在の公共下水道の使用料の1戸当たりの平均額を伺う。

#### 答弁 町長

一般家庭等の使用料の平均額は、

令和3年5月分のデータで、一般家庭の平均額が2,491円、商業用等が9,903円となっている。

**質問**

加入促進において何が問題になっているか伺う。

**答弁** 町長

下水道処理区域内での下水道接続率は、約58%で接続世帯数は974戸となっている。直近3年の接続世帯数の推移を見ると、毎年20戸から30戸ずつ着実に増えている。接続率が100%にほど近い数字となっているのが現状である。

原因は工事費がかかり費用負担が重くなっている。

**助成制度は検討中**

**質問**

宅内配管工事は、トイレ改修を含みますが、ひとり暮らしの高齢世帯、または低所得世帯に対して10万円から15万円の助成ができないか伺う。

**答弁** 町長

下水道法第10条第1項及び喜界

町下水道条例第3条の規定により、下水道への接続は義務。接続に係る費用はこれまで個人負担をお願いしていた。

接続しやすい環境づくりに努めていく必要があると考えている。

助成制度は、下水道法第11条の3、水洗便所への改造義務等、第5項の規定により、既に検討を進めている。金融機関からの借入れをして、接続されている場合の利子補給制度についても、担当課のまちづくり課長に調査・検討を指示している。

**質問**

本事業が独立採算制であることについてどのように認識しているか伺う。

**答弁** 町長

本事業が受益者負担を原則とした独立採算制である以上、下水道処理区域内にお住まいの住民の皆様には公平な負担を求めるものではない。同時に、中長期的な経営戦略を基に、健全な事業経営を図るべきであると考えている。

公共下水道事業の収支は一般会

計からの繰入金によって均衡を保っている。



質問する  
生島 常範 議員

**身障者等用駐車場、手すり付きスロープ等整備、設置へ**

**質要**

身障者や高齢者のみならず、妊産婦、松葉杖使用者等にも優しい町は全ての人にとって住みよい町である。

**質問**

身障者等用駐車場の白線整備や看板設置等点検が必要と思う。県が進める「パーキングパーミット(駐車利用証)制度」もある。見解を伺う。

**答弁** 町長・保健福祉課長

現在は役場庁舎内に5台分、図書館と加工センターに各1台分専

用駐車場を設置し、看板があるのは図書館のみ。身障者の方々が安心して暮らせるように他の施設も含め順次点検、整備していきたい。また県が推進する制度の周知についても広報誌等を通じて町民に広報していきたい。



役場庁舎前の身障者等用駐車場

**質問**

利用者が多い中央公民館には身障者等用駐車場が無い。図書館利用にも便利のように公民館正面玄関の右側に新設し、スロープにも手すりを設置できないか。

**答弁** 町長

両施設とも昭和60年頃、バリアフリーの考えが無い時代の施設なの

で、身障者の方にはきつい場所になっている。移動がしやすい場所に駐車場設置が出来ないか検討したい。また、スロープに関しても安全性を十分検討して手すり等設置していきたい。

## 一般廃棄物最終処分場、 塩道屈那地区に建設予定 完成は令和6年度

### 質要

2月に建設候補地の塩道、佐手久両地区住民に対し説明会を実施したが、まだ住民の不安払拭には至っていない。搬出ルートの変更依頼や津波発生時への不安等要望や不安も残っている。



建設予定地(塩道屈那地区)

### 質問

塩道集落で2回目の住民説明会を実施し、誠意ある説明に集落住民も理解して戴いたと聞いている。その後の進捗と佐手久集落でも実施して欲しいが、その予定などを行う。

### 答弁

 町長・町民税務課長

予定地の大部分を占める塩道集落からの要望で5月30日に2回目の説明会を実施。同集落及び近隣2筆の同意も得られたので、今年度中に土地取得、事業交付申請そして設計委託を計画予定。施設完成は令和6年になると見込まれる。また、臭いへの不安が出たので「屋根付き」を提案した。南海トラフ津波に対しては、令和3年3月に県が「予定地については津波の恐れは無い」との判断を公表した。佐手久集落については区長からの要望が有れば、2回目の説明会を行いたい(その後6月13日に実施済み)。

### 質要

## 「喜界島らしい教育」、学校 は充実、地域は課題山積

施政方針にもある「伝統文化の

継承活動や郷土教育を通して、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもの育成」を目指す喜界島らしい教育の具現化のための課題について。

### 質問

学校再編からやがて10年。伝統文化の積極的な継承活動など、郷土教育を推進している。これまで検証を重ね実践してきた成果、課題と今後の展望を伺う。

### 答弁

 教育長

教育委員会では、「ふるさとと自らの未来を拓く教育の推進」を基本理念に総合的な学習の時間で掲げ実践に取り組んでおり、学校教育の面では一定の成果を得ていると思う。しかし、学校内の活動にとど



集落のおばあ達と子どもたち  
楽しく八月踊りの練習

まるといふ課題や社会教育の面でその重要性は町民に概ね共有されているが、具体的な取り組みや実践活動に温度差、あるいは格差があり広がりや深まりが見られないという難しい状況がある。今後こうした課題をどう解決して裾野を広げるか関係方面と連携して検討していきたい。

### 質問

地域において高齢者とのふれ合い等の充実を望む声があり、無償で子ども達に伝えたいという高齢者も多い。第三土曜日の青少年育成の日の活動等地域での成果と課題を伺う。

### 答弁

 教育長

学校は高齢者を招いて様々な体験活動学習を行っており、昨年は延べ43名の方々が学校に来て戴いた。しかし、地域でのふれ合い活動に関してはかなり温度差、格差があり、難しい。青少年育成の日に部活動等休みでも活動をしない地域もあり、これも課題になっている。今後は地域での受け皿づくりなど、地域の方々とも意見交換しながら取り組む必要があると思っている。

## 議会のうごき(7月~9月)

- 7月13日…… 正副議長研修会(鹿児島市) 議長・副議長
- 7月25日…… 公立高等学校の生徒募集定員策定等に係る地区関係者からの意見聴取を行う。  
(奄美市) 議長
- 8月3日…… 市町村政研修会(鹿児島市) 全議員 後日オンライン研修会に変更
- 8月26日…… 広報研修会(鹿児島市) 広報委員

ご案内

**次の議会は、9月上旬を予定しています。**

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。  
(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

## 訂正とお詫び(「議会だよりNo.183号」記載誤りについて)

令和3年5月11日号「議会だより」2ページに掲載しました、令和3年度一般会計当初予算の主なものについて記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤)総務課

(正)企画観光課 ※枠内事業につきましては、担当課は企画観光課になります。

### ◆ 令和3年度 一般会計当初予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額(千円)
	庁舎管理費(改修工事)	庁舎屋上の防水工事	17,000
	財産管理費(修繕料)	池治、佐手久、志戸桶公民館の維持補修費	4,950
	交通安全対策費(原材料費)	ロードミラーの修繕や新規設置のための事業	1,000
総務課	総務管理費(地方公共交通特別対策事業補助金)	生活路線であるバス事業の運営補助金	33,500
	総務管理費(鹿児島、喜界、知名航路運営基金負担金)	生活路線である船航路の運営負担金	9,080
	自然環境保護費(委託費)	遊歩道の歩道修復・緊急車両用歩道拡張・駐車場整備・展望台設置を予定	20,000
	地域おこし協力隊費(報酬費)	観光物産協会関連、ジオパーク関連、移住定住関連の新規の地域おこし協力隊に係る3名分の報酬費	6,048
	新型コロナウイルス感染症対策費(委託料)	喜界町港(湾・早町)における、乗船客への検温作業委託費	1,892
	糖業振興費	基幹作物であるサトウキビ並びに生産量日本一の白ゴムの生産向上を目的に行うための事業(さとうきび機械導入等支援事業、ゴマ機械助成金、ミニトラクター購入助成など)	26,692

読者の声

田邊 大智 (30代 花良治)

喜界島に移住する前は、今とは程遠い世界にいた。毎日がパソコン・電話、たまに精密機器の塊が大量に詰まった部屋に入ったり出たりを繰り返す。それを変えようと思いついて、今でもう7年目。元々、綺麗なサンゴ礁のある場所に住みたい。ただそれだけで、喜界島の地域おこし協力隊として志願したところから島生活がスタートした。活動を通じて多くの島人に出会い、島を学ぶにつれ、その魅力にどんどんハマっていく自分がいた。今では夢のマイホーム(築50年)も手に入れ、すっかり島人だね、と言われるようになったのが嬉しく思う。

「なんで喜界島がいいの?」とよく尋ねられるので、こう答える。「ここしか出会えないようなものがたくさんあるから」。それぞれで表しきれない魅力がたくさんあるが故、そんな曖昧な回答になってしまう。文字通り挙げればきりが無いのだが、要するに「喜界島らしさ」が好きでたまらない。都会にはない、教科書にも載っていない、本土では誰も知らないような「物」「事」が、ここでは当たり前のように溢れている。そういった「喜界島らしさ」を観光客に紹介すると、目を輝かせながら喜んでくれる。まるで子供時代に戻ったかのように。自分の好きな

ものを、他の人にも好きになってもらえる。それは同じ趣味を持つ者同士の集まり、そんな心地良さど興奮が入り混じった楽しさが味わえる。

だが、人の世はいつの時代も移り変わるもの。少なからず近代化によって消えていった「喜界島らしさ」も、たくさんあると知った。悲しいけれど生活に不要とされてしまったものについては、当然のように新しいものに変わっていく。しかしながら、まだまだたくさん残っている島の宝物は、観光という形で再利用していく事ができる。それらが島の発展にも繋がればなお良いと考え、その楽しみを人に伝える事を続けていきたい。

ここは都会とは違う。それはもちろん良い意味で。たった1人の移住者の想いを親身になって聞いてくれる人達がたくさんいる。そんな心優しい島人のおかげで、普段関わる機会がなかった行政・政治関係の方とも、島の未来について語り合う事ができる。それも自然と、気さくに。何のことは無い、皆この島の事が好きだから。あとは想いをカタチにするだけ。これからも島と共に歩み続けられるようお願いを込めて。

編集後記

早くも3回の議会定例会を経験させて頂きました。議会のルールが十分に理解できなかった当初は、注意される事も多く、皆さんにご迷惑をお掛けしたことも度々でした。そんな中、今はわからない事だらけで当たり前、失敗を恐れず、わからない事は質問し、真摯に学び続けなさいと暖かい励ましの言葉を多く頂き精進しています。

加えて、広報委員会のメンバーに選ばれ議会の活動をお伝えする事の大切さも知ることができました。この機会を良い経験とし議会活動に活かしていきたいと思えます。

さて、「コロナ禍の中ではありますが、ワクチン接種も進み早く日常が戻ってくることを願っています。コロナ収束後は、奄美の世界遺産登録の影響もあり喜界島にもたくさん観光客の来島が見込まれます。島の魅力(自然の豊かさ、島人の暖かさ、きれいな海)を観光客の皆さんに堪能して頂き、リピーターを増やし島の活性化を目指していきたいと思えます。

183号議会だよりで配布いたしましたアンケートハガキは、2年間有効ですので、まだまだご意見・ご感想をお待ちしております。皆様の色々な声をお聞かせ下さい。また、届きましたハガキに関しては、後日集計して報告いたします。

文責 米田 信也



手久津久巨大ガジュマル

- 喜界町議会広報委員会  
 委員長 良岡 理一郎  
 副委員長 倉橋 博都  
 委員 野間 弘也  
 委員 生島 常範  
 委員 米田 信也  
 委員 土岐 和貴